

TS-M2M-0008v3.3.1

サービス層 API 仕様 (CoAP 用)

CoAP Protocol Binding

アブストラクト：

本仕様書は oneM2M 準拠システムで用いられる通信プロトコルで CoAP(Constrained Application Protocol) に関するプロトコルを規定している。

目次：

1 章 所掌範囲 (目的)

本仕様書は oneM2M 準拠システムで用いられる通信プロトコルで CoAP に関するプロトコルを規定している。

本仕様書の範囲は以下を含んでいる

- oneM2M プリミティブと CoAP メッセージとの対応
- oneM2M レスポンスステータスコードと CoAP レスポンスコードとの対応
- oneM2M のパラメータに対応した CoAP のクライアントとサーバの動作の定義

2 章 引用文献

3 章 定義、略語と頭字語

4 章 表記法

5 章 全体概要

以下の事項について CoAP でサポートされている機能、メッセージフォーマットなどを規定する。

6 章 CoAP メッセージの対応関係

CoAP のメッセージの以下の事項について規定する。

- トークンとオプションの運用
- ペイロード
- oneM2M のレスポンスステータスコードと CoAP のステータスコード
- CoAP を使ったリソースへのアクセス
- キャッシュの運用

7 章 セキュリティに関する事項

セキュリティ面から配慮すべき事項について規定する。

付則 A (情報) 手続きの例

AE(Application Entity)の登録手続きを例として示す。

付則 B (規則) マルチキャストグループのファンアウト手続き

CoAP によるマルチキャストグループファンアウトの手続きを規定する。

Summary:

The present document will cover the protocol specific part of communication protocol used by oneM2M compliant systems as 'RESTful CoAP binding'.

The scope of the present document is (not limited to as shown below):

- Binding oneM2M primitives to CoAP messages.
- Binding oneM2M Response Status Codes to CoAP Response Codes.
- Defining behaviour of a CoAP Client and Server depending on oneM2M parameters.